

## 投資事業評価調書（継続：再々評価）

部課室名	河川整備課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	河川整備課長 佐々木良作 (主幹兼治水係長 小西克彦)	内線	4408 (4437)
------	-------	---------------------	--------------------------------	----	----------------

事業種目	河川	事業採択年度	S52		現計画	再評価時点
事業名	統合二級河川整備事業 (二)喜瀬川水系喜瀬川	着工年度	S52	総事業費	53億円	40億円
		再評価年度	H10	内用地補償費	9億円	9億円
事業区間	播磨町野添～加古川市平岡町土山			完成予定年度	H24	-
所在地	播磨町、加古川市			進捗率 (内用補進捗率)	80% (83%)	45% (73%)
事業の目的				事業内容		
<p>当該河川は、播磨町、加古川市の人家連担部を貫流しており、JR喜瀬川橋梁が治水上のネックになっている。昭和49年7月豪雨の浸水被害（浸水面積54ha、浸水家屋148戸）等、沿川地域は浸水被害に見舞われてきた。このため、昭和49年7月豪雨の洪水に対応した治水安全度1/50を確保し、河積拡大と横断構造物の改築を主とした河川改修を行うことで、地域住民が安全で安心して生活できる環境を確保するものである。</p>				<p>計画流量 <math>Q=180\text{m}^3/\text{s}</math> (治水安全度1/50：山陽電鉄上流付近) 実施内容 <math>L=3,086\text{m}</math> <math>w=16.5\sim 27.9\text{m}</math> 築堤、護岸、掘削 道路橋6橋、 鉄道橋1橋、井堰2基等</p>		
進捗状況	<p>昭和52年度に着手し、これまでに築堤・掘削等による河積の拡大を行っており、再評価時点（平成10年度）から現在までに、井堰2基の改築と井堰周辺区間の河道改修が完了した。</p> <p>平成16年度には喜瀬川の治水上のネックとなっているJR喜瀬川橋梁の改築が完了し、JR橋梁付近の流下能力が計画流量の50%から100%へ向上する。今後は、JR橋梁上流の河積拡大を実施し、平成24年度に事業完了させる予定である。</p> <p>また、河川整備計画を現在検討作業中である。</p>					
評価視点	評価結果の説明					
(1)必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>播磨町、加古川市の人家連担部を浸水被害から守るため、治水上のネック解消等の治水対策を継続して実施する必要がある。</li> </ul>					
(2)有効性・効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li><math>B/C = 4.2</math></li> </ul>					
(3)環境適合性	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成7年度に地域整備と一体となった良好な水辺空間の形成を図る「ふるさとの川整備区間」に認定され、親水性はもとより環境にも配慮した河川改修を実施している。</li> </ul>					
(4)優先性	<ul style="list-style-type: none"> <li>過年度より鉄道事業者と連携してJR橋梁の改築を実施しており、播磨町、加古川市の人家連担部を浸水被害から守るため、残事業区間を早期に改修する必要がある。</li> </ul>					
再々評価の結果	事業継続	左の理由	上記理由により、事業継続が妥当である。			